

## 次期世田谷区障害施策推進計画（令和 9 年度～令和 11 年度）への一次意見

世田谷区自立支援協議会 会長 鈴木敏彦

## 1. 意見提出にあたって

世田谷区自立支援協議会では、意見提出にあたり、5つのエリア協議会（世田谷、北沢、玉川、砧、烏山）と3つの部会（地域移行部会、虐待防止・差別解消・権利擁護部会、子ども部会）にて個別課題等から地域課題を検討し、下記のような取り組みが必要であるという認識に至り提出いたします。下記の助言・提言の他、別紙にて具体的な「あったら良い資源」を参考資料として添付いたします。

## 2. 意見

## (1) 居場所

- ◇ 障害、高齢、子ども、若者の垣根なく、誰もが安心して集え、互いに支えあうことができる居場所づくりのサポート（経費・ネットワークづくり等）に必要な事業や制度設計を行い、居場所がどこであれ本人が安心できる場を増やしていく地域を目指す。

## (2) 金銭管理

- ◇ 利用される方、それを支える関係者にとって分かりやすく、安心して利用できる金銭管理事業の創設または既存制度の拡充、柔軟な利用を推進する。利用者、支援者双方の権利擁護が成立した仕組みの構築のある地域を目指す。

## (3) 住まい

- ◇ 障害者に住宅を提供するオーナーや借りる人にも配慮があって、障害があっても地域の一員として暮らし続けることができる地域を目指す
- ◇ 障害のある方と近隣住民がお互いを理解し合えるよう、関係をつなぐ支援者や場所を多く作り、顔の見える地域づくりを目指す

## (4) 制度について

- ◇ 日常生活で困っている障害者のニーズを「制度の型にはまったもの」だけで判断するのではなく「本人の意志や希望・状態像」を尊重し、暫定的にでも支援を受けられる地域を目指す。
- ◇ ピア（当事者）活動が地域にとってどのようなニーズがあるのかを把握して、ピア活動が浸透していくような地域を目指す。

## (5) 情報について

- ◇ 当事者、家族、関係機関など、すべての人がそれぞれに必要な情報に“つながる”（気づける、アクセスできる、理解できる、活用できる）ことができる地域を目指す。
- ◇ 制度の枠にとらわれず寄り添える支援者（地域住民・ピア・民間団体など）が協働できるネ

ネットワークをつくり、情報共有することで困っている人と確実につながる地域を目指す。

#### (6) 権利擁護・差別解消

- ◇ 障害のある方にとっても重大な不利益が生じない限りは、失敗を経験し、そこから学ぶ機会を保障された地域を目指す。
- ◇ 障害のあるなしに関わらず、互いのことを理解する機会を増やし、互いを認め合い、支え合うことのできる地域づくりを目指す。

#### (7) 包括的支援

- ◇ 一人一人異なる希望やニーズを理解し、多職種で連携して、支援できる地域を目指す。
- ◇ 福祉や地域のことを理解している医療関係者と医療のことを理解している福祉関係者がいて、お互いの立場や役割を理解し、連携できる地域を目指す。

#### (8) 発達障害

- ◇ 制度のはざまに置かれる発達障害者（児）や生きづらさを抱えた方が、それぞれの個性を発揮しながら活躍できる場の提供と、その活動を全員で支える地域を目指す。
- ◇ 当事者、家族、医療、教育、福祉、障害者雇用をしている企業等の輪が垣根なく繋がり、誰でも気軽に情報収集できたり、相談が受けられたりする地域を目指す。

3. 提出日 令和7年12月19日

以上

## せたがやインクルージョンプラン◇ 中項目 ◇

- (1) 理解する —社会全体に障害理解を浸透させる—
- (2) 守る —当事者を権利侵害から守る—
- (3) つながる場をつくる —当事者が使いやすい交流の場をつくる—
- (4) 連携して支援する —縦割りにならない支援を実現する—
- (5) 安心できる暮らしを確保する —当事者が不安なく日常生活を送れる環境をつくる—
- (6) 望むライフスタイルを実現する —当事者が希望する暮らし方を選択できる—
- (7) 毎日の暮らしをサポートする —日々の暮らしに必要な支援を確実に届ける—
- (8) 出かけやすい街をつくる —外出のハードルを下げる—
- (9) いつでも相談できる —一人で悩む当事者・家族を減らす—
- (10) 家族を支援する —当事者家族が自分の生活を楽しめる環境をつくる—
- (11) サービスの質を向上する —より良いサービスを提供する—
- (12) 望むワークスタイルを実現する —多様な働き方を可能にする—
- (13) みんなで学ぶ・楽しむ・考える —社会の一員として交流し、影響しあう—
- (14) 情報取得・発信手段を確保する —情報格差をなくす—

## 次期インクルージョンプランへの一次意見(あったら良い資源)

カテゴリー： 居場所

担当： 世田谷

### ① 助言・提言

※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする

障害、高齢、子ども、若者の垣根なく、誰もが安心して集え、互いに支えあうことができる居場所づくりのサポート（経費・ネットワークづくり等）に必要な事業や制度設計を行い、居場所がどこであれ本人が安心できる場を増やしていく地域を目指す。

「あったら良い資源」※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする

<障害、高齢、若者、子どもの垣根がない居場所づくり事業の創設>

・既存の居場所に関する情報収集機能、新しく居場所を開発できる地域ネットワークをもち、対象の方々と居場所をつなぐマッチング・コーディネート機能も持ち合わせている事業を運営するための補助金事業  
(3) つながる場をつくる (4) 連携して支援する (5) 安心できる暮らしを確保する (6) 望むライフスタイルを実現する (8) 出かけやすい街をつくる (9) いつでも相談できる (10) 家族を支援する (14) 情報取得・発信手段を確保する

<居場所づくり応援団促進事業>

・居場所の必要性を理解してくれる人々（障害当事者・インフォーマルな方々を含む）を増やし、資金、場所の提供、居場所の運営など携わってくれる人を増やしていくための事業

(1) 理解する (3) つながる場をつくる (4) 連携して支援する (8) 出かけやすい街をつくる (12) 望むワークスタイルを実現する (13) みんなで学ぶ・楽しむ・考える

・居場所を利用するどんな方々にも役割があり、居ることに安心することができる場（食堂、イベント等）を作りたい方々をサポートする事業（経費・協議会等）

(1) 理解する (3) つながる場をつくる (4) 連携して支援する (5) 安心できる暮らしを確保する (6) 望むライフスタイルを実現する (8) 出かけやすい街をつくる (9) いつでも相談できる (10) 家族を支援する (13) みんなで学ぶ・楽しむ・考える

# 次期インクルージョンプランへの一次意見(あったら良い資源)

カテゴリー： 金銭管理

担当： 北沢

① 助言・提言 ※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする

利用される方、それを支える関係者にとって分かりやすく、安心して利用できる金銭管理事業の創設または既存制度の拡充、柔軟な利用を推進する。利用者、支援者双方の権利擁護が成立した仕組みの構築のある地域を目指す。

「あったら良い資源」※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする

- ・「金銭管理が苦手な人にとって、収入の中で生活費等の項目ごとに上限金額を決めて、制限してくれるアプリがあると良い」
  - (2) 守る (7) 毎日の暮らしをサポートする (11) サービスの質を向上する
- ・「様々な理由によりお金を散財してしまう人にとって、お金が定期的に振り込まれるカード（カエルカード\*）があると良い」
  - (2) 守る (7) 毎日の暮らしをサポートする (11) サービスの質を向上する
- ・金銭管理に関わる支援者が安心して支援できるような保証制度のようなものが必要であり、そのための仕組みづくりをするための連絡会等が必要である。
  - (4) 連携して支援する (5) 安心できる暮らしを確保する (7) 毎日の暮らしをサポートする (11) サービスの質を向上する (14) 情報取得・発信手段を確保する
- ・課題を集約し、解決に向けた策を協議する場、協議した事項の実践を重ねることが出来る仕組み
  - (1) 理解する (2) 守る (3) つながる場をつくる (4) 連携して支援する (5) 安心できる暮らしを確保する (6) 望むライフスタイルを実現する (7) 毎日の暮らしをサポートする (9) いつでも相談できる (10) 家族を支援する (11) サービスの質を向上する (12) 望むワークスタイルを実現する (13) みんなで学ぶ・楽しむ・考える (14) 情報取得・発信手段を確保する
- ・事業費の拡大
  - (4) 連携して支援する (11) サービスの質を向上する

## 次期インクルージョンプランへの一次意見(あったら良い資源)

カテゴリー： 住まい

担当： 玉川

<b>① 助言・提言</b>	※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする
障害者に住宅を提供するオーナーや借りる人にも配慮があって、障害があっても地域の一員として暮らし続けることができる地域を目指す	
「あったら良い資源」※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする	
<p>・ 借りる人も貸す人も安心して暮らせる仕組みがあるとよい（本人と大家との仲介役、家賃補助制度、防音対策への補助、理解ある大家や不動産会社への優遇制度や連携など）</p> <p>（1）理解する （2）守る （4）連携して支援する （5）安心できる暮らしを確保する （6）望むライフスタイルを実現する （7）毎日の暮らしをサポートする （9）いつでも相談できる （14）情報取得・発信手段を確保する</p> <p>・ 障害があっても住みやすい住宅の提供を増やし、柔軟な住まいのカタチがあるとよい</p> <p>（1）理解する （2）守る （3）つながる場をつくる （4）連携して支援する （5）安心できる暮らしを確保する （6）望むライフスタイルを実現する （7）毎日の暮らしをサポートする （8）出かけやすい街をつくる （9）いつでも相談できる （10）家族を支援する （14）情報取得・発信手段を確保する</p>	
<b>② 助言・提言</b>	※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする
障害のある方と近隣住民がお互いを理解し合えるよう、関係をつなぐ支援者や場所を多く作り、顔の見える地域づくりを目指す	
「あったら良い資源」※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする	
<p>・ お互いを理解し合える交流の場や、トラブルがあった時に間に入る仲介役や相談役としての支援者がいるとよい</p> <p>（1）理解する （2）守る （3）つながる場をつくる （4）連携して支援する （5）安心できる暮らしを確保する （6）望むライフスタイルを実現する （7）毎日の暮らしをサポートする （8）出かけやすい街をつくる （9）いつでも相談できる （13）みんなで学ぶ・楽しむ・考える （14）情報取得・発信手段を確保する</p>	

## 次期インクルージョンプランへの一次意見(あったら良い資源)

カテゴリー： 制度

担当： 砧

① 助言・提言	※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする
日常生活で困っている障害者のニーズを「制度の型にはまったもの」だけで判断するのではなく「本人の意志や希望・状態像」を尊重し、暫定的にでも支援を受けられる地域を目指す。	
「あったら良い資源」※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする	
・表向きから分かりにくい症状や複合的な理由により、希望する生活ができない方にとって、本人の苦しさを含め、生活を客観的に評価し、支給決定に繋がられるような指標があるといい。 (4) 連携して支援する (6) 望むライフスタイルを実現する (7) 毎日の暮らしをサポートする	
・福祉サービスに含まれていないことが一時的にでも出来る部署が区にあるといい。 (4) 連携して支援する (6) 望むライフスタイルを実現する (7) 毎日の暮らしをサポートする	
② 助言・提言	※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする
ピア（当事者）活動が地域にとってどのようなニーズがあるのかを把握して、ピア活動が浸透していくような地域を目指す。	
「あったら良い資源」※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする	
・ピア活動がどのようなものか、活動したい側と利用する側双方がピア活動について知ることができるプラットフォームのような機関があるといい。 (1) 理解する (13) みんなで学ぶ・楽しむ・考える	
・ピア活動やピアスタッフが働いて、賃金が発生する機会の拡充。 (6) 望むライフスタイルを実現する (12) 望むワークスタイルを実現する (13) みんなで学ぶ・楽しむ・考える	
・ピア活動を行いたい方に向けた研修などの周知や、ピアを活用したい方とのマッチングが行える情報の場があるといい。 (12) 望むワークスタイルを実現する (13) みんなで学ぶ・楽しむ・考える (14) 情報取得・発信手段を確保する	

## 次期インクルージョンプランへの一次意見(あったら良い資源)

カテゴリー： 情報

担当： 鳥山

① 助言・提言	※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする
当事者、家族、関係機関など、すべての人がそれぞれに必要な情報に”つながる”（気づける、アクセスできる、理解できる、活用できる）ことができる地域を目指す。	
「あったら良い資源」※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする	
・自分の困りごとに対して使える資源や制度、相談先、専門家などを教えて（推奨して）くれるAIやアプリなどがあるとよい。 （4）連携して支援する（6）望むライフスタイルを実現する（7）毎日の暮らしをサポートする（8）出かけやすい街をつくる（9）いつでも相談できる（14）情報取得・発信手段を確保する	
・当事者や家族が気づきやすい場所（公共交通機関やスーパー、病院、薬局、図書館など生活の中で目に入りやすい場所）と連携し、情報共有できる仕組みがあるとよい。 （4）連携して支援する（6）望むライフスタイルを実現する（7）毎日の暮らしをサポートする（8）出かけやすい街をつくる（9）いつでも相談できる（11）サービスの質を向上する（14）情報取得・発信手段を確保する	
・困りごとに対して分野にとらわれず社会資源を案内できるワンストップ機能と、困りごとに応じた支援先を提案できる仕組みがあるとよい。 （4）連携して支援する（5）安心できる暮らしを確保する（6）望むライフスタイルを実現する（7）毎日の暮らしをサポートする（9）いつでも相談できる（11）サービスの質を向上する（14）情報取得・発信手段を確保する	
・困りごとに対して制度や分野を越えても支援が途切れないよう、情報共有をスムーズに行うことのできる地域のネットワークシステムがあるとよい。 （4）連携して支援する（5）安心できる暮らしを確保する（6）望むライフスタイルを実現する（7）毎日の暮らしをサポートする（9）いつでも相談できる（11）サービスの質を向上する（14）情報取得・発信手段を確保する	
② 助言・提言	※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする
制度の枠にとらわれず寄り添える支援者（地域住民・ピア・民間団体など）が協働できるネットワークをつくり、情報共有することで困っている人と確実につながる地域を目指す。	
「あったら良い資源」※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする	
・子ども・障害・高齢の分野問わず、分野横断で当事者等に社会資源等の必要な情報を繋げることができる仕組みや、コーディネーターがいるとよい。 （4）連携して支援する（6）望むライフスタイルを実現する（7）毎日の暮らしをサポートする（9）いつでも相談できる（10）家族を支援する（11）サービスの質を向上する（14）情報取得・発信手段を確保する	
・支援を必要とする当事者や家族が、制度の枠にとらわれず、気軽に相談したり必要な情報を得たりできるインフォーマルな場がより多くあるとよい。 （4）連携して支援する（9）いつでも相談できる（14）情報取得・発信手段を確保する	
・ピアサポート(自助活動グループ・ピアサポーター)の活動や内容等、情報提供の場が開かれ、より普及する仕組みがあるとよい。 （1）理解する（9）いつでも相談できる（14）情報取得・発信手段を確保する	

## 次期インクルージョンプランへの一次意見(あったら良い資源)

カテゴリー： 権利擁護・差別解消

担当： 基幹

① 助言・提言	※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする
障害のある方にとっても重大な不利益が生じない限りは、失敗を経験し、そこから学ぶ機会を保障された地域を目指す。	
「あったら良い資源」※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする	
・ 障害のある方の愚行権が認められる地域となるために自己決定の尊重と意思決定支援を推進するための取り組みがあるとよい。（2）守る （5）安心できる暮らしを確保する （6）望むライフスタイルを実現する	
・ 生命維持に必要な最低限の衣食住が満たされなくなった時に迅速にサポートできるような相談窓口や制度があるとよい。（5）安心できる暮らしを確保する （9）いつでも相談できる	
② 助言・提言	※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする
障害のあるなしに関わらず、互いのことを理解する機会を増やし、互いを認め合い、支え合うことのできる地域づくりを目指す。	
「あったら良い資源」※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする	
・ 地域住民や支援関係者等が障害のある方との関りで困ったことがあった時に、障害理解によって、解決できるような取り組みがあるとよい。（1）理解する （13）みんなで学ぶ・楽しむ・考える	
・ 児童期から障害のある方と関わる機会を増やし、基本的な配慮を学べ、自然な形で支え合えるようになる取り組みを推進できるとよい。（1）理解する （2）守る （3）つながる場をつくる （5）安心できる暮らしを確保する （6）望むライフスタイルを実現する （7）毎日の暮らしをサポートする （8）出かけやすい街をつくる （9）いつでも相談できる （13）みんなで学ぶ・楽しむ・考える	

## 次期インクルージョンプランへの一次意見(あったら良い資源)

カテゴリー： 包括的支援

担当： 基幹

<b>① 助言・提言</b> ※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする
一人一人異なる希望やニーズを理解し、多職種で連携して、支援できる地域を目指す。
<b>「あったら良い資源」</b> ※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする
<ul style="list-style-type: none"><li>・当事者(ピア)との協働の場を作る。医療機関や福祉施設のケースカンファレンスにピアサポーターも参加し、当事者目線での意見や視点を反映させる機会があったらよい。 (2) 守る (4) 連携して支援する (13) みんなで学ぶ・楽しむ・考える</li><li>・意思決定支援、生活能力のアセスメント、クライシスプランの作成など、再入院を防ぎ、地域に定着するための取り組みを丁寧に行けるとよい。 (2) 守る (5) 安心できる暮らしを確保する (9) いつでも相談できる</li></ul>
<b>② 助言・提言</b> ※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする
福祉や地域のことを理解している医療関係者と医療のことを理解している福祉関係者がいて、お互いの立場や役割を理解し、連携できる地域を目指す。
<b>「あったら良い資源」</b> ※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする
<ul style="list-style-type: none"><li>・病院との話し合いの場を作る。地域移行支援サービスにのらないケースに対する思いや、地域生活に対する不安を共有する場があるとよい。(4) 連携して支援する</li><li>・共通リストの作成。地域移行する際に受け入れる地域側として確認したい項目をリスト化し、医療と地域の共通シートを作成できるとよい。(例えば、金銭管理、趣味の傾向、できること、できないことなど) (4) 連携して支援する</li><li>・医療職と福祉職が互いの専門性、役割、業務内容、価値観を深く理解するための合同研修や勉強会を定期的に開催されるといい。(4) 連携して支援する</li><li>・オンラインカンファレンスツール等を活用し、時間や場所の制約を受けずに多職種が連携できる場があるとよい。(4) 連携して支援する</li><li>・各精神科病院のシステムやルールに関する情報を整理し、連携する側の関係者（地域の医療機関、福祉サービス、行政など）がアクセスできるようになるといい。(4) 連携して支援する</li></ul>

## 次期インクルージョンプランへの一次意見(あったら良い資源)

カテゴリー： 発達障害

担当： 子ども部会

<b>① 助言・提言</b> ※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする
制度のはざまに置かれる発達障害者（児）や生きづらさを抱えた方が、それぞれの個性を發揮しながら活躍できる場の提供と、その活動を全員で支える地域を目指す。
「あったら良い資源」※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする
<ul style="list-style-type: none"><li>・発達障害を抱える方が個性を活かして就労できる場があったらよい。 (3) つながる場を作る (5) 安心できる暮らしを確保する (1 2) 望むワークスタイルを実現する。</li><li>・発達障害者の方もピアサポーターとして活躍できる機会があったらよい。 (3) つながる場を作る (1 2) 望むワークスタイルを実現する (1 3) みんなで学ぶ・楽しむ・考える</li><li>・発達障害についての知識だけではなく、具体的な困りごとや困難なことを、当事者と区民と一緒に体感し、理解しあえる機会があったらよい。 (1) 理解する (2) 守る (1 3) みんなで学ぶ・楽しむ・考える</li><li>・「ながら見守り活動」ような地域住民で当事者や家族を見守る仕組みがあったらよい。 (1) 理解する (2) 守る (5) 安心できる暮らしを確保する (7) 毎日の暮らしをサポートする (8) 出かけやすい街をつくる (9) いつでも相談できる</li></ul>
<b>② 助言・提言</b> ※文書の終わりは「～の地域を目指す」とする
当事者、家族、医療、教育、福祉、障害者雇用をしている企業等の輪が垣根なく繋がり、誰でも気軽に情報収集できたり、相談が受けられたりする地域を目指す。
「あったら良い資源」※あてはまる中項目（1～14）を記入し、あてはまらないものはその他とする
<ul style="list-style-type: none"><li>・各関係者で共有できるシステムネットワークを構築し、共通のデータが使用できる仕組みがあったらよい。 (9) いつでも相談できる (1 1) サービスの質を向上する (1 4) 情報取得・発信手段を確保する。</li><li>・保護者や支援者同士が気軽に繋がりを持てる機会や場所があったらよい。 (9) いつでも相談できる (1 0) 家族を支援する (1 4) 情報取得・発信手段を確保する。</li><li>・発達障害（児）の方や生きづらい方にとって有益な情報を一括で網羅できる冊子、もしくはホームページがあったらよい。 (1) 理解する (4) 連携して支援する (1 1) サービスの質を向上する (1 4) 情報取得・発信手段を確保する。</li><li>・各関係機関や事業所間の交流研修や好事例を共有できる機会があったらよい。 (4) 連携して支援する (1 1) サービスの質を向上する</li></ul>